

「3つの期待」

校長 前田 達彦

全校生徒、389名の皆さんに期待したいことを3つ話します。

ひとつは、校訓の中にもある、「誠実」であってほしい、ということです。校則や約束事を守り、人に優しく、思いやりのある言動ができる、そういう「素直で、誠実な高校生」であって欲しいと願っています。そして、その誠実な姿勢が表ににじみ出てくるように、何事にも「丁寧に」取り組んでほしいと思います。雑で、適当な対応や言動の中には、決して誠実さは見えてきません。いろんな場面で「丁寧に」という言葉を自分に言い聞かせながら学校生活を送ってみてください。

二つ目は、「自分で考え、自分で動く」という「考動」です。学習や部活動、学校行事など、あらゆる場面で「自分で考え、自分で動く」ことを意識してください。「考えて」と「動く」、この間には必ず「正しい判断力」が必要となります。「良いか悪いか」「すべきか、せざるべきか。」を正しく判断しながら動くことで、皆さん自身が大きく成長してほしいと期待しているのです。その鍵は、「考動」することにあると思います。

最後、三つ目は、「夢や目標を持ってほしい」ということです。夢や目標があって、それに向かって懸命に努力する姿は美しく輝きます。皆が輝くために、夢や目標を定め、その達成に向けて努力を惜しまないでください。

以上、「誠実・丁寧に」「考動」「夢・目標」、というキーワードを心のどこか残し、意識してほしいと思います。どうか、「今の自分より一歩前へ、そして一つ上を目指す」。そういう1年であってほしいものです。

ところで、皆さんに配られる「進路だより」の4月号に書いてあった、こんな言葉が目にとまりました。「As you think, so shall you become.」。アクションスターで格闘家でもあったブルース・リーという人の名言です。「人は自分が考えたとおりの人間になっていく。」「あなたは、あなたが考えるようになっていく。」ということです。

どういう思いや考えをもって生活するかということに重要さを感じさせる言葉でしたので皆さんにも紹介しておきます。

(第1学期始業式 校長訓話より抜粋)